

実践記録

126

シリーズ

大人のためのゼミナール～既存事業からの脱却～

田上町公民館 主事 小柳 加奈子

○はじめに

趣味・教養・実用講座にマンネリ感や、参加者の固定化、高齢化など、数々の問題を抱えている公民館は少なくないでしょう。田上町公民館も、その一つです。

正直なところ、まだまだ課題はありますが、従来からの路線をちょっとだけ「軌道修正」した例をご紹介します。

○「大人のためのゼミナール」の誕生

以前、公民館主催事業には「女性セミナー」「ことぶき大学」「婦人学級」がありました。ネーミングで、だいたいどんな事業なのか、おわかり頂けるかと思います。これらの事業に行き詰まりを感じていた頃、社会福祉協議会の事業でも、シニア向けの各種教養講座が始まりました。同じような募集内容で、趣旨がダブったり、開催日時が重なったりと、一つの町で「客の取り合い」とまでは言いませんが、そのような事態も生じます。こういった現状を打破しようと、田上町公民館では趣味・教養講座の一つのくりに一本化しました。会に所属していなくても、それ毎にフリーに参加できる方式へ転換しました。青年層、壮年層が興味関心を持ちやすい分野の講座を単発的に実施し、軌道修正を図りました。それが、「大人のためのゼミナール」です。

○その1ースローフード教室

料理教室を一つ取ってみても、田上の旬の食材を使うことにこだわっています。なかでも田上の梅を使った「梅干づくり教室」。梅干なんて、誰でも作れると思っていましたが、これまた大盛況。教室と言うよりも、経験者が多く集まり「我が家の秘伝の



スローフード教室「梅干づくり」

技、独自手法のお披露目会」となりました。「伝承の味」とよく耳にしますが、昔ながらの味を次世代に伝えていく役目がここに 있습니다。ですから、今風のメニューではないものに趣向を凝らします。「大豆からの味噌作り教室」もやりました。手間隙掛けた作り方、保存食、おばあちゃんの知恵袋…こういった要素を持たせた料理教室にしています。

○その2ー護摩堂山の達人講座

田上町の観光名所でもある護摩堂山の歴史を学んだり、自然（野草観察）を学んだり、山歩きを楽しむ趣旨で呼びかけましたが、実は人材育成につながる講座として、仕掛けていたのでした。護摩堂山の観光マップ作成、地元ボランティアガイドの養成という側面もあり、参加者にとっては、自分の興味のある事柄を学びながら、観光ガイドとして活躍できる、一石二鳥の講座です。マップ作りでは、カメラ片手にビュースポットを確認し、参加者同士で植物の解説やガイド法を体験し、互いに学び研鑽しています。



護摩堂山の達人「マップづくり」

○おわりに

単発講座というと、打ち上げ花火的な講座なのかなと思われるかもしれませんが、毎年見直しをかけて「未来につながる講座」を心掛けています。それには、学びあいの姿勢が必要不可欠です。そのために職員は、いろんな「仕掛け」を施していかなければなりません。学んだことを、自分だけの知恵にせず、地域に還元できるような、大きく言えば町づくりにつながるような学習をこれからも継続していきたいと思っています。